



愛顔(えがお)あふれる

愛媛県

令和4年度愛媛県ノーリフティングケア普及啓発モデル事業

# ノーリフティングケアの 更なる普及を目指して

2023.3.20



愛媛県介護実技・普及センター  
ユニコム



「やさしさ」を抱きしめよう

愛媛県介護実技普及指導員  
守谷理佐 井下ゆかり

# 目次

1. 更なる普及を目指して
  - 1) 愛媛県の取り組み
  - 2) これからの介護
  - 3) 職場内で普及させるために必要なこと
  - 4) 普及できない理由は何か明確にしていく
  - 5) 普及していくために必要と思われるもの
2. 取り組んできた事業所と意見交換とまとめ

更なる普及を目指して

# 愛媛県の取り組み

令和4年度

- 愛媛県ノーリフティングケア普及啓発事業

令和元年～3年ノーリフティングケア普及啓発モデル事業

- 愛媛県介護ロボット導入支援事業

- 介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業



**総合的な活用を実施**

## 【目的】

- 介護従事者の負担軽減  
介護者・利用者 双方の負担軽減
- 職場定着（離職防止）
- 人材確保
- 高齢者の自立支援
- 質の高い介護
- 業務の効率化（生産性向上）

# これからの介護

## ①テクノロジー

介護ロボットや福祉用具・機器、ICTを駆使する  
負担軽減につながる便利なものは、便利に使っていく

## ②テクニク

介護の知識や技術を磨く。人が絶対行うべきところ 介助場面の技術だけではなく、  
アセスメントや利用者を観察する目も磨く

## ③非密着・非密接ケア

腰痛、褥瘡、拘縮の予防だけでなく、感染症対策としても必要

ノーリフティンングケアを含む

トータルセーフティケアを全ての事業所で

# 労働衛生管理体制

厚生労働省・都道府県労働局・労働基準監督署（一部改編）



- 生産性向上、職場定着、人材確保、ケアの質の向上  
リスクアセスメントを行い、作業管理、作業環境管理、健康管理、労働衛生教育を的確に組み合わせて、総合的に実施

# 職場内で普及するために必要なこと

## 1 職場の意識統一

## 2 職場環境の整備

①体制を整える

②物質的な環境

- ・道具(福祉用具・機器)をそろえる
- ・空間を整える

練習場所を設ける

居室内を整理整頓して、すぐに福祉用具・機器が使えるように配慮する

## 3 練習を重ねる

①誰でもいつでも練習できる環境を準備する

②技術を評価する仕組みを作る

# 普及できない理由は何か明確にしていく

- 動機が不明瞭

他の事業所が導入しているから、そろそろ…

- 目的が不明瞭

なぜ始めるのか不明瞭のまま→目的が職員に伝わらない

- アセスメントが不十分

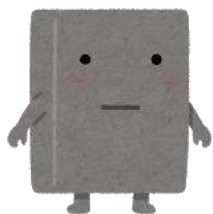
対象者の状態に合った福祉用具や介助方法が選定できていないことで  
使わなくなる



アセスメントをしっかり行うことで利用者のことを考える時間や  
向き合う時間が増えることになり、より利用者理解が深まる  
結果、福祉用具を使うこと以上のメリットが生まれることもある

# ノーリフティングケアを妨げる「壁」はなにか

- ・変わらないことの正当化
- ・どんな利得があるのか、実感値が持てない
- ・変わるきっかけがない
- ・誰も変革を主導してくれない
- ・何を変えればいいのか、わからない
- ・どうやって変わればいいのかかわからない
- ・効果検証ができない、はっきりわからない など



ここより3スライド原案：

(株) リンクアンドモチベーション グループデザイン室

モチベーションエンジニアリング研究所 上席研究員

早稲田大学トランスナショナルHRM研究所 招聘研究員

林 幸弘氏 「第2回松山SDGs経営シンポジウム」より一部編集

# 変革（ノーリフティングケア）を妨げる「壁」の存在

「壁」は当たり前と思って取り組む

「現状維持」の壁  
「対立感情」の壁

「理解」の壁  
「共感」の壁

「具体化」の壁  
「基準」の壁

「継続」の壁  
「効力感」の壁

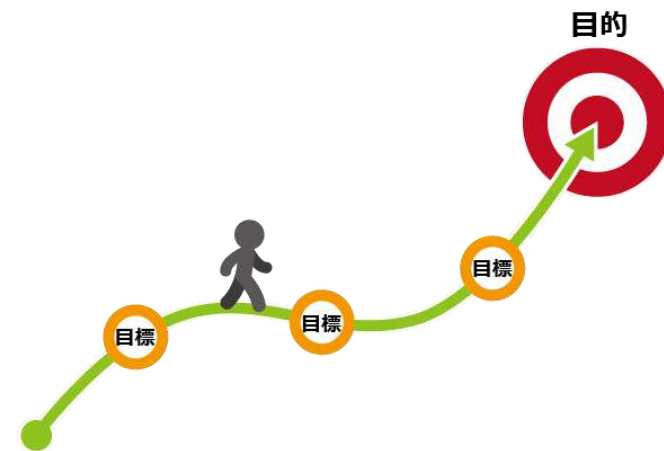


自分たちの施設・事業所では「壁」は何か  
明確にしておかないと解決にはつながらない

# 問題の可視化から課題設定へ

現状から、まずは目標⇒目的

一つひとつの目標に向かうところの問題なのか  
現状が目的に沿っていないのか など



解決策を考える  
ステップ

1. 問題

現状と本来目的にしていることとのギャップ

2. 原因

妨げとなっているものは何か

3. 課題

原因の把握で課題が明確になり、  
取り組むべきことに気づく

# 普及していくために必要と思われるもの

- 事業所全体で取り組むための労働衛生管理体制の整備

- 多職種での連携

専門職からの伝達・指導を受けて、介護職が行える体制づくり

- 固定観念、先入観の払拭

現状を維持したいという気持ちも受けとめる。取り組んでいくなかで利用者や他の職員の変化によって現状が改善されていく成果が見えるようになると心に変化が現れる可能性がある

- 教育体制

アセスメント技術の向上→介護過程の理解

A large red arrow pointing from left to right, serving as a background for the text.

取り組んできた事業所と  
意見交換

# 【ノーリフティングケアに取り組んだ事業所との意見交換】



アナログとテクノロジー  
うまく活用して  
ノーリフティングケアを含む  
トータルセーフティケアが  
愛媛県全体で  
普及することを目指して  
今後も活動していきましょう

